



令和4年11月7日

担当課	予防課
担当者	鈴木、相坂、雑賀
電話	(073) 427-0119
内線	8351

「見る！聞く！学ぶ！」防災対応力強化 和歌山市消防局防災学習センター来館者20万人達成 ～宮北小学校3年生を出迎え、記念セレモニーを開催します～

和歌山市消防局防災学習センターは、平成17年4月に開館して以来、多くの方に来館していただき、開館後17年目の令和4年11月11日（金）に総来館者数が20万人を達する見込みとなりました。防災学習センターは火災や地震など災害への危機意識を促し、いざという時の行動力を高めるために、防災対応能力を向上していただくことを学習する施設です。

つきましては、宮北小学校3年生を出迎え、来館者20万人達成記念セレモニーを開催しますので、お知らせします。

<開館記念セレモニー>

日時：令和4年11月11日（金）午前9時15分から

場所：和歌山市消防局防災学習センター エントランスホール
（和歌山市八番丁12番地 和歌山市消防局 3階）

対象者：和歌山市立宮北小学校3年生 生徒31名、引率者2名



【消防局防災学習センター】

（主なコーナー）

- ◆ 災害体感シアター「そのときあなたは」（「風水害編」と「地震編」の2タイトルを視聴）



【風水害編】

和歌山市内に住む一家に巨大な台風が襲ってくることから始まる。

【地震編】

和歌山市の日常生活の状況と南海トラフ付近の地底での止むことのない活動とを交差させ、巨大地震が発生するかもしれない日までをカウントダウン。

※ボディソニック装置（床面振動）、6方向からなる送風装置、5+1ch音響装置、150インチの大型スクリーン

- ◆ VR 防災体験車（リアルな災害現場を最先端のVRシステムで再現）



「火災」・「地震」・「津波」の3種類のVR映像を搭載しており、専用のVRゴーグルとVRチェアで刻一刻と変化するリアルな体験をすることができます。

<利用方法>

- (1) 消防局防災学習センターで利用する
- (2) 出前講座（防火防災のつどい）で利用する



※市内の各地域に出張している場合がありますので、体験を希望される方は、まず防災学習センターに電話等で確認してください。

◆ 津波ハザード

南海トラフ巨大地震が発生した場合を予測し、和歌山県下の各主要都市に、地震発生から何分後にどの程度の高さの津波が襲ってくるかをシミュレーション。

◆ 煙避難体験

バックドラフトを想定した部屋・姿勢センサー・人体に無害な煙により、避難方法が適切かどうか学習することができます。

◆ 初期消火体験

消火器の正しい使用方法と、てんぷら鍋火災の消火方法を解説するとともに、実写により、てんぷら鍋火災の初期消火体験をセンサー式消火器を使用して体験学習できます。

◆ 災害への備え 防災グッズ

テーマごとに、家庭で備えてほしい様々な防災グッズを紹介。

◆ 多目的学習コーナー（平成27年9月1日登場）

3つの学習を通じ、いざという時の行動力を高めましょう。

①着衣着火 ②応急手当 ③ういてまて

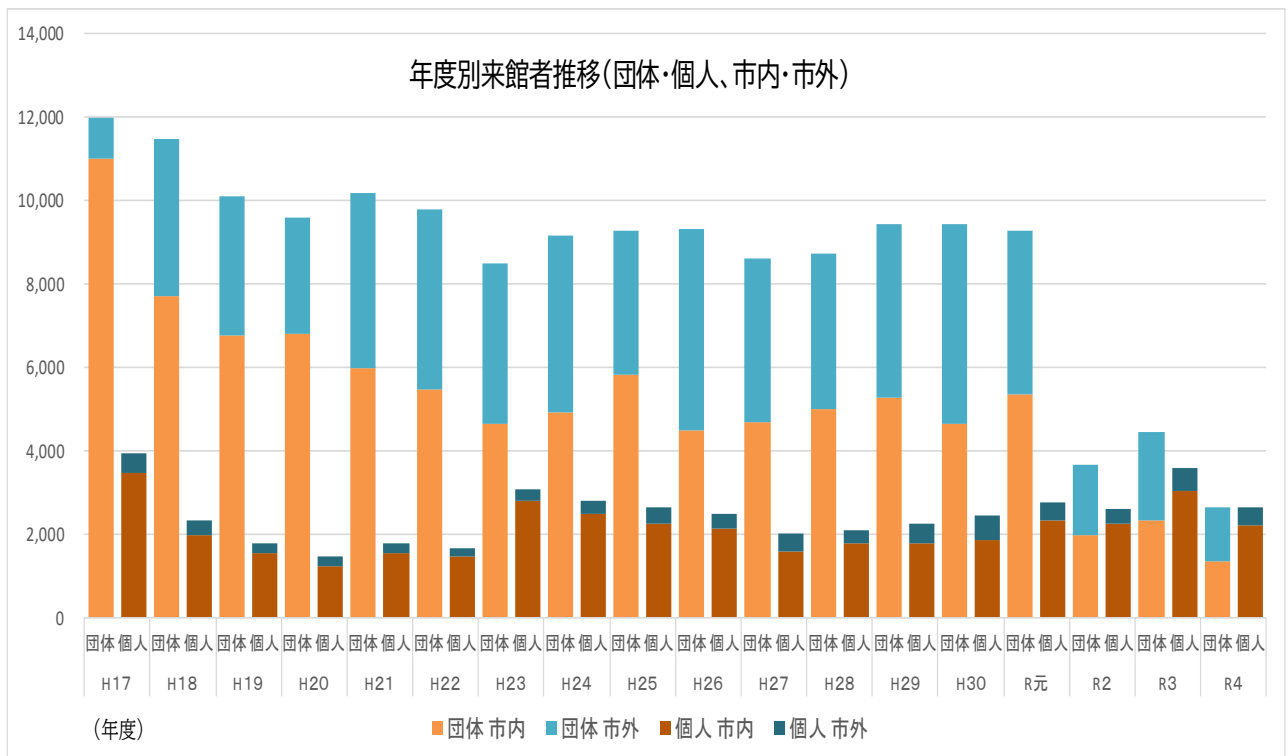
※1つの学習項目は20人まで、約20分間となります。

など18のコーナーで体験学習ができます。



（多目的学習コーナー）

【参考】



- 団体での来館者が多く、内訳としては保育園・幼稚園、小学校などの研修、自治会、事業所、こども会、スポーツ少年などの団体利用や視察などでの利用が多くなっている。
- コロナウイルス感染症の流行前は団体のうち、市外からの来館者が半数近くしめている。
- 個人利用については、平成27年度から令和元年度まで年々増加している。